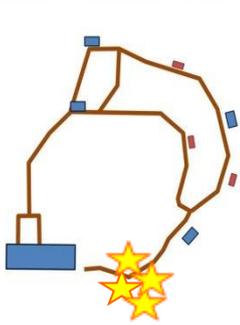


サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ花だより

No.1

今のおすすめは ミズバショウ です



↔
< 約 1 cm >
一周約 1km
所要時間30~40分
春の小鳥たちの
さえずりをききながら
散策を楽しんでください

【発見難易度】 白色の花です

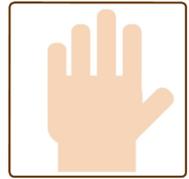
★☆☆☆☆ サトイモ科

【花の高さ】

【花の大きさ】



低い(20cm程度)



手のひらくらい

【漢字:水芭蕉】

早春の湿原に純白の苞と鮮やかな緑の葉が映えます。白い花のように見えるのは花を保護する苞で、中心にある黄色いツブツブの一つ一つが花です。花が終わると、葉が 1m 程に伸び、その葉が芭蕉(バナナの木の間)に似ていて、水辺に生えるというのが名前の由来です。

ワタスゲ カヤツリグサ科 咲いています



卵色の耳かきのような形で、一見地味で目立ちませんが、湿原の春の目覚めを感じる花です。花の後は背がどんどん伸び、白いふわふわの綿毛になります。

ハンノキ カバノキ科 咲いています



一つの枝先に雄花と雌花が付きまます。雄花はかんざしのような長い花穂が垂れ、雌花はその付け根にある紅色のマッチ棒の先のようなとても小さな花です。

アキタブキ キク科 咲いています



早春の山菜の代表であるフキノトウですが、北海道はアキタブキのみが自生し、雄株と雌株があります。雄株は花後間もなく枯れ、雌株は 1m 近く伸びます。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL 0162-82-3232 FAX 0162-82-1009

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロベツ湿原センター』で検索

http://www.sarobetsu.or.jp/swc